声のひろば

市では市民の皆さんから市政に関する意見を伺うため、広聴はがき事業を実施しています。広報みどり12月号で第２回目の意見募集を行い、お寄せいただいた意見の中から一部を、要約・編集してご紹介します。なお、その他の意見・回答は市ホームページでご覧いただけます。

問い合わせ先　秘書課広報広聴係☎(76)0957
市ホームページ　https://www.city.midori.gunma.jp

■下水道について

桐生市・太田市は下水道が完備されているが、みどり市は下水道の開発が他より遅い。（70代女性）

▼回答

下水道管を設置する道路には、ほとんどの場合、上水道管やガス管がすでに埋められています。このため下水道工事には、上水道管やガス管などが妨げとなることが多く、これらの移設工事と一緒に行う必要があるため、通常の道路工事と違い、工事に長い期間が必要になります。また、工事は道路の掘削、下水道管やマンホールなどの設置、埋め戻し、舗装復旧などの工程が必要になり、工事期間だけでなく、多額の費用も必要になります。

みどり市では、他市に比べて公共下水道の歴史が浅く、下水道整備率は他に比べて低い傾向にあることから、市民の皆さまや下水道の利用者に過度な負担をかけることにならないよう、5年おきに計画を見直しながら下水道の整備を進めているところです。今後も合併処理浄化槽などの活用も含め、みどり市に合った汚水処理を推進し、市民の皆さまの生活利便性向上に努めてまいります。（都市計画課）

■交差点の渋滞について

健康センター入口の交差点と桐生みどり消防署西の交差点、大間々諸町交差点に右折ラインを設けてほしい。（70代男性）

▼回答

朝晩における交通渋滞につきましては、笠懸地域では主要地方道大間々世良田線（県道）、大間々町地域では主要地方道太田大間々線（県道）において右折車による滞留が発生しているものと考えられます。右折ラインの設置については、道路を管理する群馬県に意見を届け、みどり市内における不便が解消できるよう各関係機関との連携に努めてまいりたいと考えます。（建設課）

■農政ついて

休耕地が多い。農業を守る農政をぜひお願いしたい。（70代女性）

▼回答

農業者の高齢化や後継者不足、獣害などにより市内の休耕地は年々増加していることから、農地が有効活用されるための事業展開が必要とされているところです。

休耕地の解消活動としましては、酒米などの地域農産物の生産奨励・支援を行っているほか、休耕地の所有者へ意向調査を行い、貸し付け希望のある場合には担い手と呼ばれる農業者へのあっせんを行っています。

また、「人・農地プラン」と呼ばれる取り組みの中では、地域の人の意見を聞きながら、「今後の地域農業について」や「誰が中心的な役割を担うのか」などについて方針を定めることとしています。

今後も、関係機関との連携を図りながら、平坦地域や中山間地域それぞれに適応した農業施策に取り組み、産地としての活性化を進めていきたいと考えています。（農業委員会事務局）

■遊歩道の雑草について

遊歩道の雑草の伸び放題が気になる。また、たまった土の処分はどうしたらよいか。（60代男性）

▼回答

みどり市では、道路パトロールによる定期的な巡回確認や、年2回程度の道路愛護運動を実施し、道路などの清掃・除草などを行っています。市民の皆さまにもご自宅の周りの清掃や自身の土地から出ている草などの管理についてご協力いただくよう、今後、広報紙などでお知らせしていきたいと考えています。

なお、処分が難しいたまった土については、市役所の建設課まで連絡いただければ、回収させていただきます。（建設課）

■はねたき広場について

子どもの自転車遊びがダメになった。子どもを排除していたら魅力のない公園だ。（70代女性）

▼回答

はねたき広場は、市民の憩いの場および交流の場として整備しご利用いただいています。広場内では、みどり市の未来を担う子どもたちの交流や家族、利用者間での交流などが行われ、また広場を利用してイベントなども開催されています。それら利用者が広場を安全・安心に利用していただくため、自転車を含めた車両の広場内での使用をご遠慮いただいています。（建設課）

はねたき広場

■道路整備について

みどり市は、他の自治体より道路の整備が遅い。（70代女性）

▼回答

道路整備については、令和2年度事業として、笠懸地域では、主要地方道大間々世良田線（県道）へアクセスするための道路整備や、安全性を確保するための歩道整備、また、劣化した舗装の改修など道路の利用状況、公共性、安全性を検討しながら、事業を進めています。住みよい街づくりを目指し、限られた財源を有効に活用できるよう計画的に進めてまいりたいと考えます。（建設課）

■拡張工事について

国道353号線の東延長上の市道を拡張工事しているが、交通量の増加が見込まれるため、周辺の国道353号線の歩道がない部分にガードレールまたは縁石を設置してほしい。（60代男性）

▼回答

地域の皆さまのご協力のもと、国道353号線と国道122号線が交差する東側の市道について、3月末に拡張工事が完成しました。

市道と接続する国道353号線につきましては、群馬県が管理する道路となっています。意見を群馬県に届け、みどり市内における交通安全対策の推進が図られるよう各関係機関との連携に努めてまいりたいと考えます。（建設課）

市道拡張工事

■国保診療所の在り方について

公の医療機関として、個人ではできない在宅医療や保健指導・健康相談など新しい方向性を、住民の声を参考に検討してほしい。（70代女性）

▼回答

みどり市国民健康保険診療所は、医療サービスの提供に加えて、国民健康保険の理念である「予防と医療の一体的提供」を行うことを目的に長年取り組んでまいりました。

ここ数年は患者数の減少や笠懸地域における民間医療機関の増加、また、昨年以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による通院患者の動向変化など、診療所を取り巻く環境は大きく変わってきています。

このように長引くコロナの影響下においても、公的医療機関、そして地域の医療機関として、今回いただいた意見なども参考に、コロナ禍の状況を踏まえた取り組みも検討しながら、医療を継続していきます。（健康管理課）

国保診療所

■企業誘致について

人が集まれば街は豊かになる。中に映画館やカラオケ店も造ると良いと思う。他県のモールを見学すると良い。（70代男性）

▼回答

新たな商業施設が進出することは、市民の生活利便性の向上や新たな雇用の場の創出など、地域の活性化に重要な役割を果たすものであると認識しています。

みどり市では、平成28年3月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「働く場の確保」を基本目標の一つの柱として定め、その実現のために既存企業への支援策や企業誘致に取り組んでいます。

また、昨年度から商工課内に企業誘致推進室を設け、企業誘致の取り組みを強化するとともに、優良企業を誘致するための産業団地の整備について検討を進めているところです。

いただいた意見なども参考にしながら、さまざまな手法を活用して、みどり市への企業誘致を進めてまいりたいと考えています。（商工課）

市民の声を募集　皆さんの意見をお聞かせください

市では、投書や電子メールを通じて、皆さんからの意見・提案をお聞きし、市政運営などに生かしています。日頃感じていることをぜひ、お聞かせください。

投書箱

▶より良いまちづくりのための意見を

市政に反映するため、個人的な要望や苦情ではなく、より良いまちづくりにつながる意見をお待ちしています。なお、個人的な要望などは、担当部署までお問い合わせください。

▶寄せられた意見・要望

寄せられた意見・提案とそれに対する市の回答を、広報みどりや市ホームページに掲載（公開）する場合があります。なお、個人情報は適切に管理し、回答の作成および返信以外の目的で使用することはありません。